

葵陵NEWS

第6号

2005
10・24

葵陵は断然 部活の秋

一 祭合祭

お祭りだ

葵陵祭2005



葵陵祭が、10月13・14日に開かれた。13日は有志で結成した劇団line(リエン)に

よるミュージカル『美女と野獣』が上演された。息のあった演技に生徒達は見入っていた。

14日はステージ発表とクラス展示が行われた。ステージ



も自分たちで作り、熱唱。左下・劇団lineと参加した先生3人。どれでしょう。

発表では音楽選択者の合唱や、ブラスバンド部のジャズ演奏など、普段の活動の成果を披露した。クラスではお化け屋敷や喫茶店など、この日のためのとっておきの企画が目白押しで、大いに盛り上がった。(写真上・3の3のチアボーイズ。保護者の方にも好評。下・準備も楽し。右下・3年生の合唱。指揮も自分たちで作り、熱唱。左下・劇団lineと参加した先生3人。どれでしょう。)



■国体に出場

10月22日から行われている、晴れの国おかやま国体秋季大会に、本校から5人出場する。「柔道」石山麻弥(石下西)、橋本靖子(北沢常北)、「剣道」野井直樹(明光)、「陸上」やり投げ・加藤木能太(水戸一)、「サッカー」木村純哉(助川)

■大舞台に挑戦

木村純哉(助川)が、来年度からJ2の水戸ホーリーホックでプレーすることに決まった。現在J2では10位のチームだが、是非活躍して強いチームにしたいってほしい。

また渡邊翔太(水戸四)が「茨城ゴールデンゴールズ」に入団することが決まった。皆さんご存じの萩本欽一率いる、今年メディアをにぎわせた球団だ。

両選手の地元での試合をみんな応援に行こう!

■文化部も大活躍

【文芸部】7月28(30日)に青森県で行われた全国高等学校総合文化祭で、文芸部誌(散文)が文化連盟賞を受賞した。

この大会は全国の高校約2800校から約18000人の高校生が参加して、演劇や音楽の発表、美術や書道作品の展示など23部門で展開される文化祭だ。また、第34回全国短歌

大会で、水間塚祥子(石岡城南)の作品が佳作になった。応募総数は約4700首、高校生だけでなく社会人も参加している中から選ばれた。

【書道部】茨城県高等学校文化祭の書道の部で、以下の7人が入賞した。中村彰浩(桜丘)、田山裕紀(常澄)、川崎悠平(勝田二)、船橋礼(桂)、小川美紀(明光)、岡野愛(有明)、與澤智佳(茨キリ)